

F/T09

フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

『転校生』

演出：飴屋法水

3月26日(木)～29日(日)

於：東京芸術劇場 中ホール



©静岡県舞台芸術センター

平田オリザが21人の女子高校生のために書いた
‘現代口語演劇’の極北『転校生』
まさに正反対の極点から芸術活動を展開してきた飴屋法水が
十数年ぶりに演出を再開し
その戯曲を新たな閃光のもとに輝かせる話題作!

お問合せ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨4-9-1 NPO法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207

制作担当：植松 y-uematsu@anj.or.jp F/T 広報担当：及位(のぞき)、ハッセル toiawase@anj.or.jp

/ 作品について

21 人の女子高校生のために書いた平田オリザの戯曲『転校生』に、演劇界・美術界において「伝説」とされる鮎屋法水が挑む。静岡県舞台芸術センター - SPAC - の製作による衝撃作の再演がついに実現。初演時は、鮎屋が十数年の活動休止を経て演出を再開することや、出演者が舞台経験のほとんどない本物の女子高生であることなどから注目度が高く、チケットは完売。再演希望の声が次々と寄せられ、要望に応えるかたちで東京公演が決定。

出演するのは、静岡県全域からオーディションで選ばれた女子高校生たち。

ある高校の教室。クラスの女子高校生たちの一日。課題図書に何を選ぶか、親戚の病気や近い人の出産のことが話題となっている。そこへ「朝起きたらこの学校の生徒になっていた」という転校生がやってくる。課題図書のひとつ、カフカの『変身』の主人公のように。彼女を受け入れながら、身近でおきている恋愛や出産や死をとおして、人間の存在の不確かさが浮かび上がってくる。

/ ワークショップとオーディション

本作品の初演(2007年12月、静岡芸術劇場)にあたり、静岡県内から約30名の女子高生が集まり、夏休み期間中の8月1日から6日間にわたってワークショップ形式のオーディションが行われた。演劇未経験者から演劇部に所属している者、市民ミュージカル経験者などで、志望動機も人それぞれ。「俳優を目指している」「先輩を見返したい」「今しか出来ない舞台に興味がある。」、歩く、名前を呼びながらボールを投げる、シーンの一部を実際に演じてみる。じっくりと射抜くような鮎屋の視線の中、参加者たちは様々な課題をこなし、最終的に18名の女子高生が選ばれた。再演にも、初演で選ばれた女子高生たちが再度の稽古を経て出演する。

/ 演出ノート

飴屋法水

本番の前日、これを書いている。

劇中に流れる、甘い甘い、ピアノ曲は、夏休みに行われた、オーディションの時、女子高生の一人が弾いたものである。日ごろ自分がまったく聞かないような、その曲は、でも、その時、彼女たちにはとても似合って見えたのだ。

すべては、夏休みのオーディションから始まった。

静岡の高校生たち。志望動機を読む。僕のことなど、誰も知らない。平田オリザ氏のことすら、誰も知らない。そんな経験は初めてだった。年齢的にも、地理的にも、感性的にも、自分からは「距離」のあるところにいる人たち。それは、僕には、とてもよい経験だった。

20人あまりの出演者を抱えた、『転校生』という、この風変わりな戯曲に取り組んでいる、この期間……僕は、ずっと試されてるような気持がした。

本番当日、舞台の幕は開くのだろうか？ このメンバーで、そこまでたどりつくのだろうか？ 感覚の相違をあげつらい、立場の相違をあげつらい、互いの欠点を指摘しあい、愚痴や不満や陰口をたたき足を引っ張り合い、バラバラに壊れてしまうのだろうか？

自分とは異なる相手を「肯定」することは、
「否定」することよりも、困難だ。
でも困難なこと以外、特に、試す価値も、ないであろう。

それは、そのまま、世界の抱える、大きな困難へとつながっていく。
世界の困難も、国家間の問題も、僕らの、日々の暮らしの上での小さな選択と、
違う根っこを持つものではないだろう。

オーディションとはいうが、僕が、彼女たちを選んだわけではない。
明日、舞台の上に立っている子供たちは、自分で、何かの選択をしたのだ。
僕に出来ることは、そんな彼女たちの選択に、精一杯の「肯定」を返すことだけだ。

リスは、かき集めた木の実を、食べるだけ食べると、食べ残した実を地面に埋める。
そして、埋めたきり忘れてしまう。その実のいくつかからは、芽が出て木になり、いつか、どこかのリスが、その実を食べることもあるだろう。

この、たった1時間半あまりの、たった2ステージで消えてしまう舞台が、いつか、どこかのリスの、食べ物になることもあるのだろうか？

それは、僕の、手の届かないところにある。

※初演(2007年12月1日 静岡県舞台芸術センター - SPAC -)の当日パンフレットより

/ アーティスト・プロフィール



飴屋法水 Ameya Norimizu

演出家・美術家

1961 年生まれ。78 年、アングラ演劇の中心的存在だった唐十郎主催の「状況劇場」に参加。84 年「東京グランギニョル」を結成し、カルト的な人気を博す。87 年「M.M.M」を立ち上げ、メカニク的な装置と肉体の融合による『スキン/SKIN』シリーズでサイバーパンク的な舞台表現を固める。

90 年代は舞台から美術活動に移行しながらも、人間の身体に一貫してこだわり続け、輸血、人工授精、感染症、品質改良、化学食品、性差別などをテーマとして扱い、コラボレーション・ユニット「TECHNOCRAT」の一員として作品を制作。

95 年、ヴェネツィア・ビエンナーレに「パブリック ザーメン」で参加するが、その後美術活動を停止。同年、ペットショップ「動物堂」を開設。

2005 年「バングント」展で美術活動を再開。昨年、静岡県舞台芸術センター主催の「SPAC 秋のシーズン 2007」にて平田オリザ作『転校生』の演出を手がけ、本格的な表現活動に期待が集まる。著書に「キミは珍獣(ケダモノ)と暮らせるか?」(文春文庫) などがある。

/ キャスト/スタッフ

演出	飴屋法水
作	平田オリザ
出演	静岡県の女子高生、SPAC
製作	静岡県舞台芸術センター - SPAC -
主催	フェスティバル/トーキョー

公演、チケット情報

会場 東京芸術劇場中ホール
 チケット料金 全席指定 一般 S席 4,500円、A席 3,500円、
 学生 3,000円(要学生証提示)／高校生以下 1,000円
 お取扱い フェスティバル/トーキョー(HPのみ) ぷれいす(電話のみ)
 電子チケットぴあ(Pコード:391-410)、イープラス
 東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

公演スケジュール

3/26 thu	3/27 fri	3/28 sat	3/29 sun
19:00	19:00	18:00	18:00

F/Tパフォーマンス チケット 2008年12月18日(木)前売開始 ※F/T参加作品は対象外

■チケット取扱

フェスティバル/トーキョー(HPのみ) <http://festival-tokyo.jp>
 ぷれいす(電話のみ) 03-5468-8113(平日 11:00-18:00)
 電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード予約) <http://pia.jp/t> ※『サンシャイン 63』と『演劇/大学 09 春』は対象外
 イープラス <http://eplus.jp> ※『サンシャイン 63』と『演劇/大学 09 春』は対象外

- ・指定席の場合、開演時間に遅れたお客様はご指定のお席にお座りになれない場合がございます。
- ・未就学児童のご入場はお断りさせていただきます。
- ・受付開始及び当日券の販売は開演1時間前、開場は30分前からとなります。
- ・チケットの払戻、観劇日の変更はできません。
- ・チケット料金には消費税が含まれます。

F/Tパフォーマンスを、選んで観る。全部観る。誘って観る。学生も観る。

フェスティバル/トーキョーならではのお得なチケットでお楽しみください。 ※フェスティバル/トーキョー・ぷれいすのみ取扱い

◇F/T回数券 **選んで観る!** ※お好きな演目を選んでご覧いただけます。(『サンシャイン 63』は対象外)
 3演目 ¥10,000 (¥3,333/枚)、5演目 ¥15,000 (¥3,000/枚)

◇F/Tパス(13演目) **全部観る!** ※全ての演目をご覧になれます。(『サンシャイン 63』は対象外)
 ¥30,000(¥2,300/枚)

※F/T回数券、F/Tパス(13演目)のお取扱いについて

- ・2月13日(金)18:00まで販売(限定枚数)
- ・観劇演目・日時が未定でも購入できます。
- ・購入後は演目・日時のご予約を受付けます。
- ・予約なしでも当日ご入場出来ます。但し、満席時はご入場頂けない場合がございます。
- ・確実にご覧頂くためには演目・日時予約をお勧めいたします。
- ・回数券・パスはご本人様のみ有効です。

◇ペアチケット **誘って観る!**

チケット2枚分の料金から10%OFFでご購入頂けます。(例/¥4,500×2枚=¥9,000→¥8,100)
 ※2名同日時観劇のみお受けいたします。 ※当日券のご用意はございません。 ※『演劇/大学 09 春』は対象外です。

◇学生料金 **学生も観る!**

学生 全演目 ¥3,000(要学生証提示) 高校生以下 全演目¥1,000
 ※東京芸術劇場中ホール公演はS席 ※当日でもご購入できます。

◇Port Bセット券(『雲。家。』『サンシャイン 63』) ¥6,400 (¥3,200/枚)

※ぷれいすのみ取扱い ※2月13日(金)18:00まで販売(限定枚数)

3演目	¥10,000 (¥3,333/枚)	F/Tパス	¥30,000 (¥2,300/枚)
5演目	¥15,000 (¥3,000/枚)	ペアチケット	10% OFF

/ フェスティバル/トーキョー09 春 開催概要

名称	フェスティバル/トーキョー09 春 Festival/Tokyo 09 spring
会期・会場	2009年2月26日(木)～3月29日(日) 東京芸術劇場 中ホール 小ホール 1・2 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) にしすがも創造舎
プログラム	F/T パフォーマンス 14 演目 F/T 参加作品 5 演目 F/T プロジェクト(シンポジウム/ステーション/クルー)
主催	東京都 財団法人東京都歴史文化財団 フェスティバル/トーキョー実行委員会 豊島区、財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン
共催	社団法人国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター
事業共催	国際交流基金
協賛	アサヒビール株式会社、株式会社資生堂
助成	財団法人アサヒビール芸術文化財団
後援	外務省、社団法人日本芸能実演家団体協議会、社団法人日本劇団協議会
協力	東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、 豊島区観光協会、社団法人豊島産業協会、社団法人豊島法人会
宣伝協力	株式会社ポスターハリス・カンパニー
平成 20 年度文化庁国際芸術交流支援事業	
提携事業	東京芸術見本市 2009

/ 写真・クレジット一覧



『ワークショップ風景』 ©静岡県舞台芸術センター

『ポートレート』



©久家靖秀 Yasuhide Kuge